

AT-101

マグネットホルダー 曲面貼り付け

取り付け方法

◎スマートフォン側の準備(金属プレート取付け)

◎スマートフォンカバー(手帳型含む)をご使用の場合

※本製品の吸着力を最大限発揮するため、四角形状の金属プレート使用を推奨します。



①ご使用のスマートフォンからカバーを外します。



②付属の金属プレートに貼ってある青色の保護シートと、金属プレート裏の両面テープのはくり紙をはがし、ご使用のスマートフォンカバー裏面に貼付けます。※1



③手帳型スマートフォンカバーで、汎用タイプやスマートフォンの可動部分の上から金属プレートを貼付けます。※2



④手帳型スマートフォンカバー裏面に折りたためるタイプの場合、折り曲げた裏面に金属プレートを貼付けてご使用いただくことも可能です。※金属プレートはカバーの中心に貼付けられない場合があります。



⑤手帳型スマートフォンカバーで、カード入れがあるタイプの場合、カード入れの部分に金属プレートを貼付けてご使用いただくことも可能です。※3



⑥傷防止のため、金属プレートの上から付属の透明保護シールを貼り付けます。



⑦ご使用のスマートフォンにスマートフォンのカバーを取付けます。

◎スマートフォンカバーをご使用でない場合、またはスマートフォンカバーの背面に直接貼付ける場合

※四角形状の金属プレートをご使用の場合、吸着力が強いため脱着に不具合が生じる場合があります。丸形状の金属プレートのご使用を推奨します。



※4 スマートフォンの表面に凹凸がある場合透明保護シールの粘着力が弱まる恐れがあります。

●透明保護シールや金属プレートをスマートフォンやスマートフォンカバーから剥がした際、スマートフォンやスマートフォンカバーの表面に、透明保護シールや両面テープの跡や粘着剤が残る恐れ、塗装・コーティングが剥がれる恐れがありますのでご注意ください。

①スマートフォンやスマートフォンカバーの傷防止のため、金属プレート貼り付け位置に透明保護シールを貼付けます。※4

②金属プレート裏の両面テープのはくり紙をはがし、透明保護シールの上へ金属プレートを貼付けます。※1

◎取り付け準備

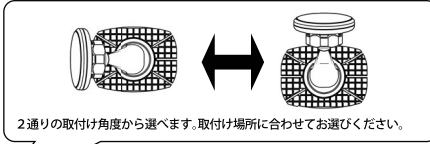
●本製品にスマートフォンをホルドした状態を想定して、貼付けスペースや運転の妨げにならないことを確認し、取付け位置を決定します。このとき、上下左右方向の移動についても確認いただき、方向を決定します。取付け場所に合わせて、2種類の取付けスタンドからお選びください。

※布地や大きな凹凸がある場所、角ばったダッシュボードのコーナー部分など、曲面の小さな場所には取付けできません。

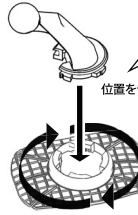
●貼付け場所の汚れや油分等を拭き取り、中性洗剤等で十分脱脂をしてください。(図1)



【ロングタイプのスタンドで取付ける場合】



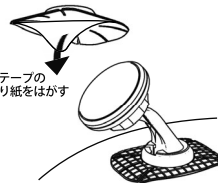
2通りの取付け角度から選べます。取付け場所に合わせてお選びください。



①スタンド部と取付け台座を固定します。それぞれのパーツをはめてから、時計回りに回して固定します。※カチッと音がなるまで固定してください。

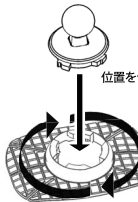


②ボールジョイント固定ダイヤルを取り外し、マグネットホルダーの受け部分とボールジョイントの間に通します。ボールジョイントを押し込んで取付けます。ボールジョイント固定ダイヤルを時計回りに回し、お好みの角度に合わせて固定します。

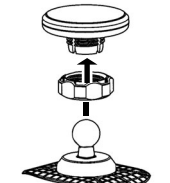


③台座パーツの底面に貼り付けてある両面テープのはくり紙をはがし、お好みの場所に貼り付けてください。

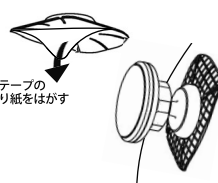
【ショートタイプのスタンドで取付ける場合】



①スタンド部と取付け台座を固定します。それぞれのパーツをはめてから、時計回りに回して固定します。※カチッと音がなるまで固定してください。



②ボールジョイント固定ダイヤルを取り外し、マグネットホルダーの受け部分とボールジョイントの間に通します。ボールジョイントを押し込んで取付けます。ボールジョイント固定ダイヤルを時計回りに回し、お好みの角度に合わせて固定します。



③台座パーツの底面に貼り付けてある両面テープのはくり紙をはがし、お好みの場所に貼り付けてください。

●両面テープ貼り付け後、24時間程度で固定が安定します。取付け直後のご使用はお控えください。

●取付け面がポリレタン製や本革製等の場合、経年劣化により両面テープを剥がす際に破損したり両面テープの跡が残るおそれがありますのでご注意ください。

●運転前にスタンドと取付け台座、マグネットホルダーが完全に固定されていることを必ずご確認ください。

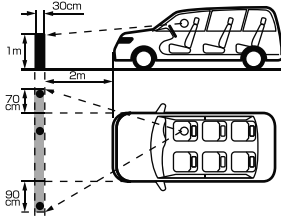
取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対に避けください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合、左右逆になります。

前方視界基準

<基準概要>

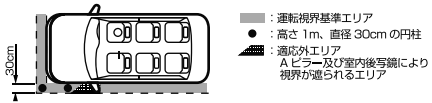
自動車前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



直前直左視界基準

<基準概要>

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1m、直径30cmの円柱
- : 適応外エリア
- : Aピラー及び室内後方鏡により視界が遮られるエリア